

市長の施政方針演説の要旨と予算

カルチャーセンターに着工

北部に中学校建設用地を取得

三月九日、昭和六十三年第一回市議会定例会が招集され、当日市長は「本市の財政運営は厳しい状況にありますが、今後も引き続き市民の幸せと市発展のため精いっぱい努力したい」と決意を述べ、市民の皆さんに対して、これまで以上に市政への理解と協力を求めています。六十三年度一般会計予算は六十二億五千九百万円で、前年度当初予算に比べ四・二%増となっています。六十三年度の予算と主な取り組みは、四ページから十一ページに掲載しました。

本市の財政については、既に認識いただいているように、地方債残高の累積により財政硬直化を余儀なくされ、起債制限団体として五十九年度から財政健全化計画を実施してきました。目標年次の六十二年度末でいちおう脱却の見通しはついたものの、依然として厳しい財政運営を迫られています。

また、六十二年度自治省による「市町村の公債費負担の適正化促進措置」に基づき、公債費負担適正化計画を策定し、六十六年度までに単年度の起債制限比率を一六%以下にするよう努力します。

白根総合公園 全体計画の完成 71年度に

市民から最も要望の強い総合体育施設の建設については、六十二年度から実施設計委託と修景施設工事の一部を進めてきました。七十一年度全体完成を目標に、都市公園整備事業として整備を進めていますが、施設の核となるカルチャーセンター（多目的体育館）は、市制施行三十周年記念事業として最重点施策に位置づけ、六十三年度から建設に着手します。

北部中学校は 65年度に着工

六十三年度から、中学校も四十

一般国道8号白根道路計画（四車線化）については、バイパス部五・九キロ、現道拡幅部五・五キロ、橋りょう部〇・四キロの計十一・八キロを幅員二十八メートルにするものです。

また、都市計画道路（街路）と用途地域についても、計画道路の利用方法や土地利用などを考え、国道の計画と併せて都市計画変更決定を行い、できるだけ早急に事業着工ができるよう努力します。



白根総合公園建設工事現場。ちびっこ広場と催し物広場は4月1日から開放します

人学級が導入されることから、白根第一中学校の学級増が予定されていることと、遠距離通学の解消や大鷲中学校の老朽化などを考え併せ、大通、大鷲、根岸の各小学校を学区とする（仮称）北部中学校を新設することとし、六十二年、六十四年度の二か年で、白根地域土地開発公社を活用し、建設用地の取得と造成を行い、六十五年度から三年の継続事業で建設を進めます。

大鷲保育園を増改築

大鷲保育園の増改築を国、県の補助を受けて進めます。このため、鷲ノ木保育園は廃園となりますが、この計画では鉄筋平屋建ての四百九十二平方、七十人規模の保育園となります。

市史巻6・7を発行

本年度は、昭和元年から現代までの史料を収録した近代、現代史料編の白根市史巻六を発行するとともに、古代から現代までの通史編の巻七を市政施行三十周年記念事業の一つに位置付け、二か年の継続事業として発行します。本年度は千五百部を発行します。内容は、市民生活に密着した史料を収録することを中心に、学術的にも活用できるよう配慮し、特に巻七の通史編は、だれでも理解できるようにカラー写真、イラストなどを使うほか、英文要約も付記します。

北部地域にガスホルダーを建設

六十二年度から計画的に進めている（仮称）北部供給所建設計画の継続事業として幾何容量三千立方のガスホルダー一基とその関連施設の建設に着手し、北部地域の開発、進展に伴う需要量と緊急時における安定供給ができるよう施設の整備拡充を図ります。



ガスホルダー建設予定地の造成工事

市制施行30周年記念企画委員会を設置

市制施行三十周年を迎える六十四年度に向け、本年度は市民を含めた企画委員会を設置して、企画検討に入ります。この三十周年を機会に明日の白根を考え、市民意識を高める事業や行事にしたいと思えます。

一般会計予算は 62億5900万円

以上、申し述べた基本的な考え方を踏まえ、六十三年度一般会計予算は、総額で六十二億五千九百万円を計上し、前年度当初予算に比べ四・二%増で編成しました。

特別会計と 企業会計予算

昭和六十三年度白根市老人保健特別会計予算は、前年度当初予算に比べ〇・六%増の十八億百七十九万九千円を、昭和六十三年度白根市国民健康保険事業勘定特別会計予算は、四・〇%増の二十億百三十一万六千円を計上しました。

また、昭和五十三年度白根市ガス事業会計予算は、収益的収支のうち、収入では八億八千七百四十三万七千円を、支出では八億四千三百二十万二千円をそれぞれ計上し、差し引き四千四百二十三万五千円の当年度利益を見込み、資本的収支のうち、支出では四億五千九百九十五万五千円を計上しました。

昭和六十三年度白根市水道事業会計予算では、収益的収支のうち収入では六億七千二百九十九万二千円を、支出では六億五百二十二万一千円を計上し、差し引き六千七百九十七万一千円の当年度利益を見込み、資本的収支のうち、支出では二億三千二百五十万一千円を計上しました。

部門別の主な取り組みは、六ページ以降で紹介いたします。